

【乳がん検診精度管理5指標】(令和3年度)

	単位 %	検診実施方法	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率	要精検率	精検受診率	乳がん発見率※	陽性反応適中度※
市町	金沢市	集団	90,674	1,975	4.6	6.0	86.5	0.352	5.830
		個別		5,487	11.0	4.7	97.3	0.430	10.734
	七尾市	集団	9,809	770	16.9	8.1	96.6	0.254	3.202
		個別		19	0.3	21.1	75.0	0	0
	小松市	集団	20,953	1,660	17.1	6.6	89.1	0.371	5.359
		個別		258	2.2	8.9	100.0	0.147	1.613
	輪島市	集団	4,611	458	18.4	4.5	92.9	0.130	3.030
		個別		136	4.0	16.3	68.0	0.630	6.250
	珠洲市	集団	2,508	203	14.8	3.4	90.9	0.197	5.085
		個別		83	6.9	3.2	66.7	0.415	10.000
	加賀市	集団	13,040	1,518	19.2	6.2	93.5	0.289	5.015
		個別		528	6.2	8.0	93.5	0.341	3.673
	羽咋市	集団	4,114	555	23.4	2.9	100.0	0.256	5.464
		個別		101	4.2	15.6	100.0	0.171	1.408
	かほく市	集団	6,759	696	20.5	6.3	100.0	0.387	7.656
		個別		91	2.5	9.1	88.9	0.249	2.083
	白山市	集団	22,442	1,069	10.4	9.1	97.6	0.336	4.275
		個別		707	5.7	7.3	96.5	0.434	5.976
	能美市	集団	9,659	1,064	24.4	6.3	100.0	0.226	3.084
		個別		268	4.4	14.2	97.9	0.652	4.712
	野々市市	集団	10,033	957	20.6	7.6	95.8	0.462	6.019
		個別		185	3.6	6.3	92.9	0.520	5.172
川北町	集団	1,209	237	43.9	9.8	93.1	0	0	
	個別		3	0.6	33	100.0	0	0	
津幡町	集団	7,831	661	16.4	5.2	100.0	0.327	7.692	
	個別		163	3.9	5.2	81.8	0.280	2.655	
内灘町	集団	5,454	751	21.3	4.1	94.9	0.252	6.704	
	個別		213	5.8	3.0	100.0	0.248	4.286	
志賀町	集団	3,749	577	25.1	3.9	97.0	0.311	6.276	
	個別		59	2.3	14.9	100.0	0	0	
宝達志水町	集団	2,511	259	21.8	8.0	100.0	0.399	6.087	
	個別		26	1.9	3.3	100.0	0	0	
中能登町	集団	3,314	505	25.0	2.9	63.6	0.183	4.070	
	個別		5	0.4	60	66.7	0	0	
六水町	集団	1,479	101	16.4	4.5	100.0	0.309	4.348	
	個別		10	1.4	18	100.0	0	0	
能登町	集団	3,101	298	18.3	4.1	100.0	0.543	11.224	
	個別		93	5.2	7.5	100.0	0.360	4.255	
検診機関	成人病予防センター	集団	90,183	11,252	19.5	6.4	93.6	0.318	5.000
		予防医学協会	90,183	2,311	3.7	5.4	96.1	0.486	9.032

●「受診率」
乳がん検診の対象者のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。

●「要精検率」：要精検者/全受診者
受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、基準値は6.4%以下とされています。

●「精検受診率」：精検受診者/要精検者
「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましい値で基準値は90%以上とされています。

●「乳がん発見率」：発見乳がん患者/全受診者 ※市町はH29～R3の5年平均
受診された方のうち乳がんが発見された方の割合で、基本的に高ければ高い方が望ましい指標です。基準値は0.31%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出しております。

●「陽性反応適中度」：発見乳がん患者/要精検者 ※市町はH29～R3の5年平均
検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に乳がんがあった方の割合で、基準値は4.8%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出しております。

※「精検受診率」は許容値を下回することは良くないとされていますが、それ以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率、喫煙者の比率などによっても大きな影響を受けるため、下回れば必ず問題があるとは言えません。

また、「乳がん発見率」「陽性反応適中度」は、小さな自治体では年度による変動が大きいとされています。

※ 市町は地域保健・健康増進事業報告、検診機関は石川県生活習慣病管理指導協議会における課題検討結果報告による。

※ 対象者数、受診者数、受診率は40～69歳、その他の指標は40歳以上を算定の対象としている。

※ 市町のがん発見率と陽性反応適中度は5年平均(H29～R3)で算出。

※ 厚生労働省「がん検診のあり方に関する検討会報告書「がん検診事業のあり方について(令和5年6月)」別添6より「連続受診者がいることを考慮」の基準値を用いている。網掛けは基準値に達していない市町。